



平成28年2月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成27年7月10日

上場会社名 株式会社リヒトラブ 上場取引所 東・名  
 コード番号 7975 URL http://www.lihit-lab.com  
 代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名)田中宏和  
 問合せ先責任者 (役職名)常務取締役管理部長 (氏名)大内高明 (TEL)06(6946)2525  
 四半期報告書提出予定日 平成27年7月13日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成28年2月期第1四半期の連結業績(平成27年3月1日～平成27年5月31日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年2月期第1四半期	2,789	0.5	67	△61.3	112	△40.5	80	△27.3
27年2月期第1四半期	2,775	3.4	173	△23.2	189	△41.7	110	△46.7

(注) 包括利益 28年2月期第1四半期 141百万円(39.8%) 27年2月期第1四半期 101百万円(△68.1%)

	1株当たり 四半期純利益		潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益	
	円	銭	円	銭
28年2月期第1四半期	4	71	—	—
27年2月期第1四半期	6	49	—	—

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年2月期第1四半期	13,462	64.3	8,654	64.3	8,654	64.3
27年2月期	13,149	65.4	8,597	65.4	8,597	65.4

(参考) 自己資本 28年2月期第1四半期 8,654百万円 27年2月期 8,597百万円

2. 配当の状況

	年間配当金					
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計	
	円	銭	円	銭	円	銭
27年2月期	—	0.00	—	5.00	5.00	—
28年2月期	—	—	—	—	—	—
28年2月期(予想)	—	0.00	—	5.00	5.00	—

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成28年2月期の連結業績予想(平成27年3月1日～平成28年2月29日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円	銭
第2四半期(累計)	4,950	3.9	120	16.6	130	△20.3	80	△10.1	4	71
通期	9,400	2.3	140	—	160	△20.2	100	9.4	5	89

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無

(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 一社(社名) 、除外 一社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

28年2月期1Q	19,078,500株	27年2月期	19,078,500株
28年2月期1Q	2,095,438株	27年2月期	2,094,668株
28年2月期1Q	16,983,504株	27年2月期1Q	16,986,383株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 .....	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 .....	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	3
3. 四半期連結財務諸表 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書 .....	6
四半期連結包括利益計算書 .....	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	8
(継続企業の前提に関する注記) .....	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	8
(セグメント情報等) .....	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間（平成27年3月1日～平成27年5月31日）の我が国経済は、大企業・輸出関連企業等を中心に企業収益や雇用情勢の改善が進み、景気は全般に緩やかな回復基調が続きましたが、地方経済や中小企業の景況感の回復には依然弱さが見られる状況で推移いたしました。

当業界におきましては、個人需要は、高機能製品や高付加価値製品が需要を支え、総じて堅調でしたが、法人需要の回復は依然進まない状況で推移いたしました。コスト面では、円安等の影響による原材料等の大幅な調達コストの上昇が、市場価格には波及しない厳しい状況で推移いたしました。

このような状況のもと、当社グループでは、事務用品等事業において「良い品はお徳です」をモットーに、パーソナルユース系の製品を拡充、魅力ある新製品を投入し、売上の拡大に努めてまいりました。

製品シリーズでは、SMART FIT（スマートフィット）、AQUA DROPs（アクアドロップス）、1/3（ワンサード）インチピッチシリーズ等は、机収納シリーズとともに、個人需要を中心に売上を拡大いたしました。また、新たに追加したSMART FITブライトレーベル、THE DESIGN MIND COMPANY（ザデザインマインドカンパニー）レザーイメージ・フラワーイメージシリーズも順調に市場に浸透し、売上を伸ばしました。海外向けでは、AQUA DROPsシリーズを中心に売上を拡大いたしました。

法人需要は、別製品の小口化や価格競争による低価格化が進行したほか、病院向けカルテブックの低価格化や需要の減少等により総じて低調に推移いたしました。

以上の通り、事務用品等事業は、新製品の投入効果や海外売上の増加等により増収となりました。

また、不動産賃貸事業は、テナント賃貸収入等の減少により若干の減収となりました。

この結果、当第1四半期連結累計期間における売上高は、27億8千9百万円（前年同期比0.5%増）となりました。

利益面につきましては、製品・原材料の調達先の見直し、部材の内製化等により製造原価の低減を進め経費の抑制に努めましたが、円安による製品・原材料価格の上昇等により、営業利益は6千7百万円（前年同期比61.3%減）、経常利益は外貨建て債権等の為替差益4千4百万円を計上したこと等により1億1千2百万円（前年同期比40.5%減）、四半期純利益は8千万円（前年同期比27.3%減）となりました。

なお、当社グループの主要な事業であります事務用品等事業は、季節的要因から第1四半期連結累計期間が売上高、利益額ともに大きくなる傾向にあります。

セグメントの業績につきましては、次のとおりであります。

部 門	売上高（百万円）	構成比（%）	前年同期比増減（%）
フ ェ イ ル	975	35.0	0.8
バインダー・クリヤーブック	639	22.9	3.9
収 納 整 理 用 品	781	28.0	3.7
そ の 他 事 務 用 品	305	11.0	△11.5
事 務 用 品 等 事 業	2,702	96.9	0.7
不 動 産 賃 貸 事 業	86	3.1	△6.1
合 計	2,789	100.0	0.5

#### 【事務用品等】

事務用品等事業は、以下の4部門に大別しております。

##### <ファイル部門>

ルーバーファイル、カラークリヤーホルダー、リングファイル、パンチレスファイル<HEAVY DUTY>、リクエスト・D型リングファイル等は堅調に推移いたしました。一方、法人需要は総じて伸び悩みました。その結果、ファイル部門の売上高は9億7千5百万円（前年同期比0.8%増）となりました。

##### <バインダー・クリヤーブック部門>

リクエスト クリヤーブック<ポケット交換タイプ>、AQUA DROPsシリーズのクリヤーブック、1/3（ワンサード）インチピッチシリーズ及びフラワーイメージシリーズのツイスト・ノートが堅調に推移いたしました。その結果、バインダー・クリヤーブック部門の売上高は6億3千9百万円（前年同期比3.9%増）となりました。

##### <収納整理用品部門>

SMART FITシリーズのキャリングポーチ、限定色発売のキャリングバッグ、バッグ・イン・バッグ、ペンケース、机収納シリーズの机上台のほか、フラワーイメージシリーズポイントカードホルダー等が売上を伸ばしました。その結果、収納整理用品部門の売上高は7億8千1百万円（前年同期比3.7%増）となりました。

##### <その他事務用品部門>

家庭向けメディカル用品のMS+（エムエスプラス）が売上を維持しましたが、病院向けメディカル用品等をはじめとする既存製品が低調に推移し、その他事務用品部門の売上高は3億5百万円（前年同期比11.5%減）となりました。

以上の結果、事務用品等事業の売上高は、27億2百万円（前年同期比0.7%増）となり、営業利益は、円安に伴う調達コストの大幅な上昇により5千4百万円となりました。

#### 【不動産賃貸】

不動産賃貸事業は、市況低下による影響に加え、本社ビルの貸室稼働率が低下したこと等により、売上高は8千6百万円（前年同期比6.1%減）となり、営業利益は1千2百万円となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末における総資産は前連結会計年度末に比べ3億1千3百万円増加し、134億6千2百万円となりました。これは、現金及び預金、受取手形及び売掛金、投資有価証券が増加したこと等によるものであります。純資産は、5千6百万円増加し86億5千4百万円となり、その結果、自己資本比率は64.3%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

業績見通しにつきましては、概ね計画通りに推移していることから、平成27年4月10日発表時より変更はいたしておりません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計方針の変更等)

「退職給付に関する会計基準」(企業会計基準第26号 平成24年5月17日。以下「退職給付会計基準」という。)及び「退職給付に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第25号 平成24年5月17日。以下「退職給付適用指針」という。)を、退職給付会計基準第35項本文及び退職給付適用指針第67項本文に掲げられた定めについて、当第1四半期連結会計期間から適用しております。なお、退職給付債務及び勤務費用の計算方法は、期間定額基準によっており従来の計算方法と変更はありません。また、割引率の決定方法は、割引率決定の基礎となる債券の期間について、従来、従業員の平均残存勤務期間に近似した年数を基礎に決定する方法によっておりましたが、退職給付の支払見込期間及び支払見込期間ごとの金額を反映した単一の加重平均割引率を使用する方法へ変更いたしました。

退職給付会計基準等の適用については、退職給付会計基準第37項に定める経過的な扱い(過去の財務諸表に対しては遡及しない)に従っております。なお、当第1四半期連結会計期間の期首における利益剰余金の増減はありません。

この結果、従来の会計処理の方法によった場合に比べ、当該会計基準を適用することによる税金等調整前四半期純利益及びその他重要な項目に対する影響額はありません。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成27年2月28日)	当第1四半期連結会計期間 (平成27年5月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	824,914	1,110,825
受取手形及び売掛金	1,825,670	2,103,613
商品及び製品	1,587,704	1,307,871
仕掛品	67,728	66,111
原材料及び貯蔵品	862,135	810,996
繰延税金資産	63,617	105,828
その他	133,977	87,731
貸倒引当金	△3,905	△5,511
流動資産合計	5,361,843	5,587,467
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	2,645,362	2,618,470
機械装置及び運搬具（純額）	726,540	721,422
土地	2,925,180	2,925,180
リース資産（純額）	308	154
その他（純額）	134,731	127,876
有形固定資産合計	6,432,123	6,393,104
無形固定資産	51,293	49,409
投資その他の資産		
投資有価証券	899,661	1,040,489
その他	412,123	399,511
貸倒引当金	△7,194	△7,064
投資その他の資産合計	1,304,589	1,432,936
固定資産合計	7,788,007	7,875,451
資産合計	13,149,850	13,462,918

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成27年2月28日)	当第1四半期連結会計期間 (平成27年5月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	822,873	972,517
短期借入金	529,000	496,000
リース債務	394	200
未払法人税等	23,365	81,191
賞与引当金	114,371	159,802
役員賞与引当金	11,350	15,552
その他	463,403	512,796
流動負債合計	1,964,758	2,238,061
固定負債		
長期借入金	916,000	870,000
繰延税金負債	203,476	229,997
役員退職慰労引当金	157,554	157,327
退職給付に係る負債	1,065,453	1,061,208
その他	244,613	251,466
固定負債合計	2,587,098	2,569,999
負債合計	4,551,856	4,808,061
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	1,830,000	1,830,000
資本剰余金	1,411,861	1,411,861
利益剰余金	5,364,422	5,359,554
自己株式	△398,106	△398,247
株主資本合計	8,208,177	8,203,169
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	338,975	451,992
繰延ヘッジ損益	7,786	—
為替換算調整勘定	171,626	130,383
退職給付に係る調整累計額	△128,570	△130,688
その他の包括利益累計額合計	389,816	451,687
純資産合計	8,597,994	8,654,856
負債純資産合計	13,149,850	13,462,918

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成26年3月1日 至平成26年5月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成27年3月1日 至平成27年5月31日)
売上高	2,775,612	2,789,509
売上原価	1,873,388	2,002,084
売上総利益	902,223	787,424
販売費及び一般管理費	728,447	720,095
営業利益	173,776	67,328
営業外収益		
受取利息	266	192
受取配当金	1,714	1,727
為替差益	12,208	44,088
雑収入	8,919	4,551
営業外収益合計	23,108	50,560
営業外費用		
支払利息	4,094	3,175
雑損失	3,234	1,873
営業外費用合計	7,328	5,048
経常利益	189,555	112,841
税金等調整前四半期純利益	189,555	112,841
法人税、住民税及び事業税	97,185	80,460
法人税等調整額	△17,813	△47,671
法人税等合計	79,371	32,789
少数株主損益調整前四半期純利益	110,183	80,051
四半期純利益	110,183	80,051



四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成26年3月1日 至平成26年5月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成27年3月1日 至平成27年5月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	110,183	80,051
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	30,782	113,017
繰延ヘッジ損益	△9,229	△7,786
為替換算調整勘定	△30,186	△41,242
退職給付に係る調整額	—	△2,117
その他の包括利益合計	△8,633	61,870
四半期包括利益	101,549	141,922
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	101,549	141,922
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第1四半期連結累計期間(自 平成26年3月1日 至 平成26年5月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	事務用品等事業	不動産賃貸事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	2,683,036	92,576	2,775,612	—	2,775,612
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	433	433	△433	—
計	2,683,036	93,009	2,776,045	△433	2,775,612
セグメント利益	151,442	22,333	173,776	—	173,776

(注) 1 セグメント売上高の調整額は、セグメント間の内部売上高消去額であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

II 当第1四半期連結累計期間(自 平成27年3月1日 至 平成27年5月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	事務用品等事業	不動産賃貸事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	2,702,602	86,906	2,789,509	—	2,789,509
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	399	399	△399	—
計	2,702,602	87,306	2,789,909	△399	2,789,509
セグメント利益	54,587	12,741	67,328	—	67,328

(注) 1 セグメント売上高の調整額は、セグメント間の内部売上高消去額であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。